

はじめに



一関市では平成 18 年度に「一関市総合計画」を策定し、将来像として掲げた「人と人、地域と地域が結び合い未来輝く いちのせき」の実現に向け施策を進めているところですが、少子高齢化の急速な進行、経済の低成長や地球規模での環境問題など社会情勢は急激に変化しております。

この一関市都市計画マスタープランは、本市の都市計画に関する基本的な方針であり、将来都市像や土地利用、都市施設などの整備方針を定めるとともに、長期的な視点に立った「まちづくりの指針」としての役割を果たすものです。

本市には先人が守り、築き上げてきた豊かな自然と悠久の歴史・文化が息づいており、この貴重な財産を将来の一関を担う子供たちに継承していくとともに、市民誰もが誇りと愛着を持って「住みたい、住み続けたい」と思えるよう、地域特性を生かした魅力あるまちづくりを進めて参ります。

最後に、このマスタープランの策定にあたり、懇談会や説明会などを通じ貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆さまをはじめ、策定懇話会、都市計画審議会ならびに多くの関係者の皆さまに深く感謝申し上げますとともに、今後とも将来都市像の実現に向け、一層のご参画とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 21 年 3 月

一関市長 浅井 東兵衛

全体構想

まちづくりの基本目標

- ① 利便性・快適性・安全性に優れ、効率的で機能的なまちづくり
- ② 広域的な連携と交流が活発に行われるまちづくり
- ③ 産業が活性化し、賑わいと活力あふれるまちづくり
- ④ 自然と調和した個性と魅力があふれるまちづくり

分野別構想

- ① 土地利用の方針
- ② 都市施設の整備方針
- ③ 都市環境・景観形成の方針
- ④ 都市防災の方針
- ⑤ ひとにやさしいまちづくりに関する施策の方針

地域別構想

一関地域

○地域の将来像

「歴史文化・自然と調和し、活力ある産業を展開する広域拠点・いちのせき」

○地域づくりの方針

- ・広域的な拠点としての役割を担うため、市内外における地域拠点との連携や交流を促進する交通ネットワークの強化
- ・社会情勢の変化に対応できる都市機能が集積したコンパクトな市街地の形成
- ・広域拠点にふさわしい、賑わいと活力のある中心市街地の形成
- ・恵まれた立地環境を生かし、活力ある産業が展開する創造性に富んだ産業拠点の形成
- ・骨寺村荘園遺跡等の貴重な歴史的・文化的景観や巖美溪などの自然環境の保全と活用
- ・地震や水害などの災害に強い安全で快適な定住環境の整備

花泉地域

○地域の将来像

「花と優しさにあふれる農住パークタウン・はないずみ」

○地域づくりの方針

- ・緑豊かな田園環境と調和した安心・快適な定住環境の形成
- ・豊かな自然や農村環境の保全と活用
- ・南の玄関口として交流・連携を促進するネットワークの形成と新たな産業活動の展開

大東地域

○地域の将来像

「豊かな緑と清らかな水からなる室瀬水の里・だいとう」

○地域づくりの方針

- ・健康で快適な暮らしを支える定住環境の形成
- ・森林浴や自然の体験など森林レクリエーション環境の整備
- ・花きなどを活かした農林業の振興による磐井の里づくり

千厩地域

○地域の将来像

「沿岸と内陸を結ぶ交流拠点・せんまや」

○地域づくりの方針

- ・市の副次拠点としての都市機能の強化と快適な都市環境の整備
- ・広域的な連携や交流を促進するネットワークの形成
- ・地域を先導する産業拠点の機能強化
- ・水と緑と調和した定住環境の整備
- ・活気と魅力に満ちた市街地空間の形成

東山地域

○地域の将来像

「水と大地の恵みとともに生きる産業観光拠点・ひがしやま」

○地域づくりの方針

- ・豊かな自然の維持・
- ・石灰関連産業のより
- ・職住が近接した災害に強い安心・快適な定住環境の形成
- ・自然・文化を継承する環境づくり

室根地域

○地域の将来像

「森との共生の中にいのちが育まれるまち・むろね」

○地域づくりの方針

- ・緑豊かな自然環境とする定住環境の形成
- ・森の生活をテーマにど森林型レクリエーション環境の整備
- ・伝統芸能や森の恵みを生かした特産品など、地域ブランドの創出
- ・基幹産業である農林業を生かした地域づくり
- ・気仙沼市との交流を通じた地域の活性化

川崎地域

○地域の将来像

「川とともに生きるハーモニータウン・かわさき」

○地域づくりの方針

- ・災害に強い安全で快適な定住環境の形成
- ・道の駅を中心とした交流・レクリエーション拠点の充実
- ・水辺を利用した観光の促進、地域ブランドの創出
- ・豊かな自然や農村環境の保全と活用

地区別構想

一関中央地区

○地区の目指すべき方向

- ・広域圏を牽引する中心拠点の形成
- ・すべての人が安全で住みやすい、コンパクトなまちづくり
- ・まちの歴史・文化を生かした、人々が愛着を持てるまちづくり
- ・安全な市街地形成と中心市街地の活性化

一関東部地区

○地区の目指すべき方向

- ・ものづくり産業拠点の形成と機能強化
- ・駅を中心として、安全、快適に暮らせるコンパクトなまちづくり
- ・市の東部エリアとのネットワーク強化
- ・田園環境や自然環境の保全と開発の調和

一関西部地区

○地区の目指すべき方向

- ・快適で潤いのある暮らしができるコンパクトなまちづくり
- ・巖美溪など豊かな自然環境を生かしたネットワークの形成
- ・沿道流通業務ゾーンの商業施設等の適切な立地誘導
- ・田園環境や自然環境の保全と開発の調和

千厩地区

○地区の目指すべき方向

- ・市の副次拠点にふさわしい、活気、賑わいと魅力にあふれるまちづくり
- ・住宅地、公園や医療・福祉・教育施設等を街なかに集中するコンパクトで暮らしやすいまちづくり
- ・企業活動を円滑にする環境の整備による機能強化

東山地区

○地区の目指すべき方向

- ・観光拠点としての活気、賑わいと魅力にあふれるまちづくり
- ・豊かな自然環境と調和したコンパクトで安全、快適なまちづくり
- ・企業活動を円滑にする環境の整備による機能強化
- ・豊かな自然や歴史・文化を生かした、人々が愛着を持てるまちづくり

まちづくりの推進方策

- ① 協働によるまちづくりの推進
- ② まちづくりの推進体制の充実
- ③ 効率的なまちづくりの推進

I 序論

第1章 一関市都市計画マスタープランとは

1 策定の目的	2
2 計画の対象地域	2
3 計画の目標年次	2
4 策定体制	3
5 一関市都市計画マスタープランの構成	4

第2章 一関市の現況と課題

1 一関市の概況	5
(1) 地勢、自然	5
(2) 歴史・沿革、文化	5
(3) 人口・世帯、年齢構成	6
(4) 土地利用	7
(5) 産業	7
(6) 交通の状況	9
(7) 人の動きや拠点性に関する現況	10
(8) 都市計画の状況	12
2 まちづくりに関する市民意識	14
3 まちづくりの課題	18
(1) 時代の潮流（都市を取り巻く環境）	18
(2) 本市の課題	20
4 これからのまちづくり	22

II 全体構想

第1章 都市の将来像

1 将来都市像	24
2 まちづくりの基本目標	25
3 将来都市構造	27

第2章 分野別構想

1 土地利用の方針	30
2 都市施設の整備方針	38
3 都市環境・景観形成の方針	49
4 都市防災の方針	52
5 ひとにやさしいまちづくりに関する施策の方針	54

第3章 地域別構想

1 一関地域	56
2 花泉地域	62
3 大東地域	65
4 千厩地域	68
5 東山地域	71
6 室根地域	74
7 川崎地域	77

Ⅲ 地区別構想

第1章 地区別構想

1 地区区分の設定	84
2 地区ごとのまちづくりの方針	85
(1) 一関中央地区	85
(2) 一関東部地区	92
(3) 一関西部地区	102
(4) 一関地区の整備課題図及び整備構想図	113
(5) 千厩地区	118
(6) 東山地区	130

Ⅳ まちづくりの推進方策

第1章 まちづくりの推進方策

1 まちづくりの推進の基本的な考え方	142
(1) 協働によるまちづくりの推進	142
(2) まちづくりの推進体制の充実	142
(3) 効率的なまちづくりの推進	142
2 協働によるまちづくりの推進	143
(1) 市民の連携	143
(2) 協働によるまちづくりの推進方策	143
3 まちづくりの推進体制の充実	145
(1) まちづくりの推進体制の充実	145
4 効率的なまちづくりの推進	146
(1) まちづくりの流れ	146
(2) 都市計画制度の活用	147
(3) 分野別関連計画の策定	148
(4) その他諸制度の活用	148
(5) 重点的なまちづくり	149
(6) 主な先導的事業	150

資料編

1	用語解説	154
2	都市計画マスタープラン策定の経過	162
3	一関都市計画審議会／諮問書	163
	一関都市計画審議会／答申書	164
4	一関市都市計画審議会委員名簿	165
	一関都市計画マスタープラン策定懇話会委員名簿	166
	都市計画区域別まちづくり懇談会参加者名簿	167
5	一関市都市計画マスタープラン策定懇話会設置要綱	169
	一関市都市計画マスタープラン策定委員会設置規程	170